

大項目	中項目	小項目	取組の方向性	主な取組内容
1 生涯スポーツの推進	(1) スポーツ参画人口の拡大	① スポーツを楽しむ機会の充実	スポーツ・レクリエーションの普及・促進	○スポーツフェスティバル等のイベント、各種スポーツ教室・講習会等の実施 ○「希望郷いわて 元気・体カアップ60運動」の県民運動的な展開 ○トップ・プロスポーツチームと連携した観戦招待、スポーツ教室の実施
			「超人スポーツ」の創造、国内外への発信	○「超人スポーツ」を考案するワークショップの開催 ○体験会の開催による普及・発展
		② 総合型地域スポーツクラブの充実	総合型クラブの創設・育成支援	○広域スポーツセンター、市町村との連携による総合型クラブの創設・育成支援
			総合型クラブの活性化、自立的な運営促進の環境整備	○クラブ育成アドバイザーの巡回による指導 ○クラブマネージャーの育成 ○指導者研修等によるプログラムの質的充実
		③ スポーツを通じた健康増進	県民の運動等の生活習慣の改善	○市町村のスポーツ推進委員、学校、企業の職域等との連携による60運動の県民運動的な展開による運動習慣の定着化
			健康運動指導士等の育成、資質向上 スポーツ医・科学の知見を活用した健康づくり等	○健康運動指導士や健康運動実践指導者等を対象とした安全に運動を楽しむための講習会の開催 ○子供から高齢者まで幅広い年代を対象とした体力測定やトレーニング指導・栄養指導等の研修会の開催
	(2) 子供のスポーツ機会の充実	① 学校体育の充実	体育授業・部活動を通じた運動に親しむ資質や能力の育成	○授業等を通じた運動やスポーツの多様な楽しみ方の共有 ○オリンピック・パラリンピアン等の学校派遣
			運動習慣、望ましい食習慣、基本的な生活習慣の形成	○家庭や地域における60運動等を通じた運動の習慣化、肥満予防・対策等の推進
			指導者の資質や授業力の向上	○体力・運動能力調査の実施・分析 ○体育・保健体育授業の改善・充実
		② 運動部活動の充実	生徒のニーズを踏まえた環境整備、指導者の資質向上	○合同部活動等の取組 ○指導者を対象とした各種研修会の開催、部活動指導員の配置
			「部活動の在り方に関する指針」に沿った取組の促進	○生徒の健康に配慮した運動部活動の推進(休養日設定等) ○地域のスポーツ団体、総合型クラブ、スポーツ少年団等との連携
			子供の成長過程に応じた多様な運動・スポーツの体験機会の創出	○総合型クラブ、スポーツ少年団等の情報発信 ○家庭や地域における60運動の浸透 ○トップ・プロスポーツチームと連携した取組(スポーツ教室、公式戦の応援、トップレベルのアスリートとの交流等)
	(3) 成人のスポーツ機会の充実	① 働く世代のスポーツ参画人口の拡大	ライフスタイルに合わせて体を動かす環境づくり	○市町村のスポーツ推進委員、学校、企業の職域等との連携による60運動の県民運動的な展開
			「健康経営」等の取組の推進	○健康経営のセミナー実施、「いわて健康経営宣言」事業等の取組の促進、いわて健康経営アワードの充実
		② 高齢者のスポーツ参画機会の充実	市町村・関係団体と連携したスポーツ機会の提供	○スポーツ医・科学の知見を活用した健康運動の指導等 ○全国健康福祉祭への選手団派遣、いわてねんりんピックの開催支援
			地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の促進	○高齢者のニーズに応じたスポーツ教室、様々な世代が集うスポーツイベントの開催等の促進
	(4) スポーツに関わる多様な人材の育成・確保	① 地域スポーツを支える人材の育成	地域のスポーツ活動を支える多様な人材の育成	○スポーツ推進委員研修会・研究大会の充実 ○総合型クラブの運営人材の育成 ○大学等と連携したシンポジウム等を開催
		② スポーツボランティアの養成の促進	スポーツボランティアの普及・養成、支援の仕組みづくり	○トップ・プロスポーツチーム等と連携し、研修会を開催 ○スポーツボランティアの登録、大会情報等の発信
		③ スポーツ団体の組織強化等	スポーツ団体の組織運営の透明化	○公益法人等への指導監督を通じたガバナンスの強化 ○会議等でのコンプライアンスの徹底、優良事例の紹介
		④ スポーツ功労者の表彰の実施	本県のスポーツ振興に寄与した県民、団体の顕彰	○岩手県文化スポーツ表彰 ○スポーツを通じた社会貢献活動に取り組む企業等を対象とした新たな顕彰の仕組みづくり
(5) スポーツを楽しむ環境の整備	① 県有スポーツ施設のストックの適正化	岩手県公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定、計画の着実な推進	○県営スポーツ施設の計画的な維持管理、修繕、更新 ○県営野球場を効率的に整備 ○多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターのあり方について改めて検討	
		② 地域スポーツ資源の有効活用・利用促進	市町村スポーツ施設の有効活用、新たなスポーツ資源の発掘 学校体育施設の更なる開放	○スポーツ資源の情報発信による利用促進 ○県内の山や川、海、湖等を活用したスポーツアクティビティの創出 ○学校体育施設の開放による地域住民の利用推進
2 スポーツを通じた共生社会の実現	(1) 障がい者スポーツの推進	① 障がい者のスポーツ参画機会の充実	障がい者のスポーツ参画機会の充実	○県障がい者スポーツ大会、各種スポーツ教室等の開催 ○全国障害者スポーツ大会への選手派遣 ○総合型クラブにおける障がい者の受入態勢の整備、拡大
			特別支援学校等における運動・スポーツ教育の推進	○体育指導者研修会の開催による教員の資質向上、体育の授業改善 ○大会等に出場する児童生徒への支援
			県民の障がい者スポーツに対する理解促進	○障がいのある人もない人も共に参加するスポーツイベントやスポーツ体験会の拡充、県民体育大会等における障がいのある人の競技への参加、障がい者スポーツの観戦機会の拡大
		② 障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備	障がい者スポーツ指導者の養成・確保の促進	○スポーツ推進委員、総合型クラブのスタッフ等を対象とした障がい者スポーツ指導員の養成研修の実施
			支援組織の拡充に向けた取組の支援	○障がい者スポーツ団体の組織体制、事業執行等への指導・助言、組織設立に向けた取組への情報提供等
			施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化、特別支援学校の活用促進	○ひとにやさしいまちづくりに係る県ホームページ等での広報、セミナー開催 ○民間事業者の助成金を活用した障がい者スポーツ用具の配備促進 ○特別支援学校の体育施設の開放
	(2) 高齢者スポーツの推進	① 高齢者のスポーツ参画機会の充実(再掲)	市町村・関係団体と連携したスポーツ機会の提供	○スポーツ医・科学の知見を活用した健康運動の指導等 ○全国健康福祉祭への選手団派遣、いわてねんりんピックの開催支援
			地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の促進	○高齢者のニーズに応じたスポーツ教室、様々な世代が集うスポーツイベントの開催等の促進
		② スポーツを通じた健康増進(再掲)	県民の運動等の生活習慣の改善	○市町村のスポーツ推進委員、学校、企業の職域等との連携による60運動の県民運動的な展開による運動習慣の定着化
			健康運動指導士等の育成、資質向上 スポーツ医・科学の知見を活用した健康づくり等	○健康運動指導士や健康運動実践指導者等を対象とした安全に運動を楽しむための講習会の開催 ○子供から高齢者まで幅広い年代を対象とした体力測定やトレーニング指導・栄養指導等の研修会の開催
	(3) スポーツを通じた女性の活躍推進	① 女性のスポーツ参画機会の充実	女性のニーズや意欲に合ったスポーツ機会や情報の提供	○市町村や総合型クラブのスポーツ教室やプログラムの多様化(開催日・時間、講座の種類等)の促進
			健康問題に対する正しい知識の普及や理解促進	○女性アスリートや指導者、保護者等を対象とした研修の実施、スポーツ医・科学の知見を有する専門家との相談機会の提供
② 女性がスポーツを楽しむ環境の整備	女性の指導者や多様な有資格者等の人材の養成・確保	○女性指導者や今後指導者として活躍が期待される成人女性アスリート等を対象とした研修会の実施 ○女性のスポーツ推進委員の登用促進 ○女性のいわてアスレティックトレーナー等の養成の推進		
	ライフスタイルに応じたスポーツを楽しむ環境づくり	○総合型クラブ等への優良事例の情報提供(働く女性向けの利用時間設定、子育て中の女性に配慮したキッズスペースの確保等)		

大項目	中項目	小項目	取組の方向性	主な取組内容
3 競技力の向上	(1) アスリートの発掘・育成	① 次世代アスリートの発掘・育成	世界基準の育成システムの構築、オリンピックメダリストの輩出	○いわてスーパーキッズの取組の充実（認定、様々な競技の体験、最新のトレーニング等） ○若手トップアスリートの国内外での競技活動支援 ○オリンピック輩出実績等がある競技団体のジュニア選手育成の取組支援
		② 国内外で活躍するアスリートの育成	国体に向けた選手強化、東北トップレベルの競技力の維持	○各競技団体の選手強化の取組や強化指定クラブの活動の支援、トップアスリートの遠征や合宿等の競技活動の支援 ○岩手県スポーツ特別強化指定校（公立高校）の指定、優秀指導者の特別強化指定校への配置
		③ アスリートが競技生活を継続できる環境の整備	アスリートの就職支援、サポートする企業等の拡大	○障がい者スポーツ強化選手の指定、大会出場や遠征参加等の活動支援、研修会等を通じた有望選手の発掘・育成
		④ スポーツ優秀選手の表彰	優秀アスリート等の表彰	○就職マッチングの機会提供によるアスリートの県内就職の推進 ○トップアスリートの競技活動をサポートする県内企業の開拓
	(2) 競技力向上を支える人材の育成	① 指導者の資質向上	最新の指導技術、戦術等の習得機会の提供	○日本代表監督等のキャリアを持つ全国トップレベルの指導者の招聘、実技指導等を通じた指導法の習得 ○日本代表チームの指導経験等のある本県指導者のトップコーチ認定、合同研修会の開催、中央競技団体の専門研修への派遣
			障がい者を含むアスリートの競技力向上を支える指導者の養成、資質向上	○競技団体における（公財）日本スポーツ協会公認指導者資格の取得促進 ○日障協公認の障がい者スポーツ指導員の養成研修の実施 ○障がい者スポーツ選手やその指導者を対象とした実技指導
		② アスリートのサポート人材の育成	障がい者を含むアスリートの競技力向上を支える人材の養成を促進	○スポーツドクター、スポーツデンティスト、スポーツファーマシスト等の資格取得の促進 ○有資格者の専門的知見を活用したサポートの実施 ○大会、強化練習会へのアスレティックトレーナー等の派遣、いわてアスレティックトレーナーの養成
			スポーツ医・科学、情報等を活用した支援	○アスリートの基礎体力の測定、測定結果の分析、効果的なトレーニングメニューの提供 ○簡易な器具を用いた測定方法の開発 ○県内大学、医療関係団体と連携し、高度な医療機器等を用いた生理学的な測定の実施
	(3) 競技力向上を支える環境の整備	① スポーツ医・科学、情報等を活用した支援	スポーツ医・科学の知見に基づく取組の充実	○いわてアスレティックトレーナーの養成、医療関係団体等との連携による婦人科や工学分野等の知見や資格を有する人材の確保
			競技の特性に応じたサポート体制の充実	○スポーツ医・科学の知見に基づくスポーツ栄養、トレーニング等の研修会の実施
			スポーツ医・科学の知識に関する情報提供	○会議等を通じた関係法規や倫理規定等を遵守した健全な組織運営の取組の促進
		② 競技団体の組織強化	競技団体を管理・統括する理事長や事務局長等のマネジメント能力の向上促進	○競技団体の強化責任者を対象としたアンチ・ドーピング、ハラスメント等の研修の実施 ○自己点検評価による選手強化事業の活性化
4 スポーツを通じた地域活性化の推進	(1) スポーツを活用した地域づくりの推進	① スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進	各種競技の国内拠点化、人的・経済的交流の拡大	○本県のスポーツ資源やスポーツイベント等の情報発信 ○スポーツ大会・合宿の誘致等をマネジメントする人材の育成、合宿相談会の実施、大会・合宿の誘致
			スポーツアクティビティの創出	○県内の山、川、海、湖等のスポーツ資源としての可能性調査を踏まえた先導的なモデルの創出、全県的な普及
		② ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進	本県統一イメージ、スポーツイベント等の取組を通じた地域の活性化	○トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催、観戦機会の提供等によるチームへの愛着や一体感の醸成、ホームゲームにおける冠試合の開催、アウェイゲームにおける県内の観光情報の発信
			RWC2019に向けた県民の参画機運の醸成、大会後のレガシー創生を見据えた取組の推進	○「ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会」を中心とした大会準備 ○各種広報の強化等を通じた県民の積極的な参加の促進（チケット購入、ボランティア登録等） ○大会後を見据えた人材育成、交流人口の拡大、「釜石鶴住居復興スタジアム」の利活用等による地域活性化の取組促進
	(2) スポーツを活用した経済の活性化	① 大規模イベントやトップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援	東京2020大会を契機とした交流人口の拡大や県民の参画機運の醸成	○市町村のホストタウン登録や事前キャンプ誘致の取組支援、ホストタウン等の取組を契機とした大会終了後の継続的な相互交流の促進 ○復興の火の展示や聖火リレーの実施 ○オリンピック・パラリンピアンへの学校への派遣
			いわてスポーツコミッションを中心とした大規模スポーツイベント等の誘致	○本県のスポーツ資源や受入態勢の情報発信（いわてスポーツコミッションのWebサイトやSNS、いわてスポーツキャンプガイドブック等） ○選手や大会関係者に対する食や観光等の情報の事前提供
			大規模スポーツイベント等を契機とした県産農林水産物の高付加価値化や販路の拡大	○東京2020大会の調達基準であるGAP等の認証取得の促進、国内外から訪れる観光客向けの新たな料理メニュー・土産品開発等の支援、供給可能な食材の情報発信や生産者とサプライヤー業者等のマッチング ○東京2020大会の選手村ビレッジプラザへの県産木材の提供、本県の高品質な木材・製材品の情報発信と販路の開拓
		② スポーツビジネスの創出・拡大	トップ・プロスポーツチームと連携した観光や県産品の情報発信	○公式戦等の機会を活用した観光情報の発信や県産品のPR、販路拡大
県内企業に対するスポーツビジネスの普及啓発	○国が実施するスポーツ市場の動向調査等の情報共有、各種スポーツ団体等と行政や民間事業者等との連携			
		県内企業の研究・開発の促進	○スポーツに関連した技術や製品の共同研究・開発に向けた産学官連携によるネットワークの構築	